

小松電機に中国経産局長賞

中国地方発明表彰

リアル表示で広域水管理に貢献



小松代表取締役(中央)と小松電機産業社員らで記念撮影

発明協会主催の令和2年度中国地方発明表彰式がさきごろ、松江市内で開催された。文部科学大臣賞など10賞で、25件と2人が表彰され、小松電機産業の「クラウド型リアルタイム表示」(特許第6527660号)が、中国経済産業局長賞



水局長が小松電機産業の本社内を見学

は、時間のずれを解消して「見える化」を図り、遠隔での正確な監視できることなどが好評を得ている。

表彰式には小松昭夫・小松電

を受賞した。水の広域総合管理システム「やくも水神」を深化させ、現場施設の計測データのリアルタイムでの表示を可能とし、水管理の社会的ニーズへ貢献していることなどが評価された。

「やくも水神はスマートフォンやパソコン、タブレット型リアルタイム表示に導入されており、クラウド型リアルタイム表示は、情報監視システム。今年2月現在で全国470自治体、1万3000施設に導入されており、クラウド型リアルタイム表示は、時間

機産業代表取締役らが出席し、洲上善弘・経済産業省中国経済産業局長から表彰状などが授与された。謝辞では、受賞者代表の小松代表取締役が「やくも水神」のクラウド型リアルタイム表示の開発などに携わっていた、あらゆる関係者に感謝を申し上げたい。今回の受賞を契機に一層精進し、水道・下水道事

業の発展に貢献していきたい」と決意を述べた。なお、表彰式に先立ち、洲上局長らは松江市内にある小松電機産業の本社・工場を訪問。「やくも水神」関連製品や高速シートシャッター「門番」の展示などを見学した。意見交換では、小松代表取締役が気候変動などを踏まえた水問題のあり方などについて、住民

と共に議論する場の必要性を求めたのに対し、洲上局長は「一定の理解を示した。また、文部科学大臣賞は、安原環境テクノロジー(本社・山口県柳井市、安原隆造社長)の「水の流れを利用した水中酸素溶解方法と装置」(特許第6281927号)が受賞。複数の水流と大気を混合・攪拌し、低工

ネルギーで大気中の酸素を水中溶解する方法で、安原社長は「数年後には下水道の曝気施設への展開も視野に」などと見通しを語った。

発明協会の地方発明表彰は大正10年から実施。優れた発明などの技術者・研究開発者を表彰しており、特許登録などが要件となっている。